

野菜の需給・価格動向レポート(平成24年7月2日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	5月の価格動向		6月の価格動向			生育及び価格の7月の見通し				
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格 下旬	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格 上旬	中旬					
葉 茎 菜	キャベツ 	84.37	85	67.2	53	47	・入荷見込量: 14,271t (101) ・主産地: 群馬 (63)、岩手 (12)、茨城 (7)	・群馬産は、台風4号の被害もなく順調な生育であり、今後は徐々に出荷量が増加する見込み。岩手産も、順調な生育で品質もよく平年並みの出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)		
		86.69	93	81.66	71	58	・入荷見込量: 3,600t (101) ・主産地: 群馬 (41)、長野 (39)、茨城 (11)			
	ねぎ (関東: 白ねぎ 関西: 青ねぎ) 	264.1	330	264.1	295	289	・入荷見込数量: 3,995t (100) ・主産地: 茨城 (63)、千葉 (14)、埼玉 (6)、輸入 (8)		・茨城産は、作柄が順調で、太めの2L及びLサイズ中心の出荷になり、安定した出荷になっている。今後は平年並みの出荷の見込み。千葉産も、生育が順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		334.73	357	334.73	381	381	・入荷見込数量: 210t (99) ・主産地: 香川 (24)、徳島 (20)、大阪 (17)、奈良 (12)、三重 (8)、高知 (7)			
	はくさい 	67.05	69	67.05	48	41	・入荷見込量: 6,065t (101) ・主産地: 長野 (85)		・長野産は、台風の被害もなく作柄も良好で順調な生育となっているものの、最近の朝晩の気温の低下の影響により通常サイズの出荷となり、平年並みの出荷となる見込み。 ・平年並みの出荷が見込まれることから、平年を下回って推移している価格は、平年並みに近づき見込み。	
		77.96	97	77.96	69	47	・入荷見込量: 2,500t (94) ・主産地: 長野 (96)			
	ほうれんそう 	376.1	407	376.1	366	363	・入荷見込量: 910t (100) ・主産地: 栃木 (30)、群馬 (25)、岩手 (14)、茨城 (13)		・栃木産は、最近の気温の低下の影響で生育がやや停滞し、少なめの出荷となっているが、今後気温の上昇とともに増加する見込み。群馬産は、順調な出荷となり、今後は平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		396.89	525	396.89	464	468	・入荷見込量: 440t (117) ・主産地: 岐阜 (85)、北海道 (11)			
	レタス 	156.23	159	120.13	116	112	・入荷見込量: 9,423t (99) ・主産地: 長野 (86)、群馬 (11)		・長野産は、品質も安定し順調な生育となっているものの、最近の朝晩の気温の低下の影響により通常サイズの出荷となり、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、台風4号の影響と品種の切り替わりの時期により少なめの出荷となっているが、今後徐々に増加する見込み。 ・群馬産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。	
		165	171	132.22	125	119	・入荷見込量: 2,100t (99) ・主産地: 長野 (99)			
たまねぎ 	71.02	94	71.02	100	103	・入荷見込量: 7,977t (91) ・主産地: 佐賀 (41)、兵庫 (22)、香川 (15)、輸入 (4)	・佐賀産は、貯蔵ものの出荷となっているが、定植時の降雨等の影響で平年の7割程度の出荷となっており、今後は少なめの出荷の見込み。兵庫産及び香川産も、小玉傾向で少なめの出荷となり、今後は平年より少なめの出荷となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。			
	71.02	101	71.02	110	113	・入荷見込量: 2,700t (82) ・主産地: 兵庫 (90)、佐賀 (6)				
果 菜	きゅうり 	189.84	177	189.84	148	162	・入荷見込量: 7,917t (101) ・主産地: 福島 (40)、岩手 (13)、秋田 (12)、埼玉 (6)、宮城 (5)	・福島産は、曇天と低温の影響で少なめの出荷となっているが、中旬からは露地もの出荷が始まり、出荷量が増加する見込み。岩手産は、ハウスものの出荷となっているが、露地もの出荷も始まり、平年並みの出荷となる見込み。 ・福島産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は上旬までは平年を上回って推移する見込み。		
		177.22	193	177.22	143	158	・入荷見込量: 1,850t (101) ・主産地: 福島 (32)、北海道 (19)、愛媛 (18)、香川 (6)、宮崎 (6)			
	トマト 	209.59	344	209.59	331	296	・入荷見込量: 8,170t (102) ・主産地: 青森 (20)、栃木 (13)、茨城 (9)、福島 (8)、岩手 (7)、群馬 (7)、千葉 (7)、秋田 (6)		・栃木産は、冬春トマトから夏秋トマトへの作型の切り替わりとなっている。夏秋トマトは玉の肥大も良く、順調な出荷となるものの、全体として平年の出荷量には届かない見込み。青森産は、定植時の寒さによる生育遅れが回復し、出荷開始となっているが、平年並みの出荷量には届かない見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		228.53	334	228.53	316	291	・入荷見込量: 1,800t (110) ・主産地: 北海道 (28)、岐阜 (21)、石川 (8)、愛知 (8)、岡山 (7)、愛媛 (6)			
	なす 	297.07	321	297.07	341	356	・入荷見込量: 4,674t (99) ・主産地: 栃木 (26)、群馬 (25)、茨城 (23)、埼玉 (7)		・栃木産は、台風4号の影響で擦れ果等が発生したが回復傾向で、今後は、順調な出荷となる見込み。群馬産は、台風の影響で少なめの出荷となり、今後は少なめの出荷の見込み。 ・群馬産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		271.01	317	271.01	316	328	・入荷見込量: 1,150t (108) ・主産地: 山梨 (23)、徳島 (16)、大阪 (15)、奈良 (11)、京都 (8)、高知 (8)			
	ピーマン 	308.36	299	251.5	231	207	・入荷見込量: 1,765t (99) ・主産地: 茨城 (63)、岩手 (21)		・茨城産は、出荷の終盤を迎え徐々に減少し、中旬までの出荷となる見込み。岩手産は、春先の低温の影響で2~3日程度の遅れが見られるが、ハウスものが中心の出荷となり、下旬からは露地もの出荷となる見込み。 ・出荷量の減少が見込まれることから、平年を下回って推移している価格は、平年並みに近づき見込み。	
		283.1	262	266.65	239	224	・入荷見込量: 360t (106) ・主産地: 高知 (18)、兵庫 (16)、宮崎 (15)、大分 (11)、和歌山 (9)、福島 (8)、愛媛 (6)			
	根 菜	だいこん 	86.59	90	86.59	74	68		・入荷見込量: 8,154t (99) ・主産地: 青森 (46)、北海道 (46)	・青森産は、生育遅れからは回復し順調な生育になっているものの、残雪の影響で播種ができなかったほ場があり、今後はその時期の出荷となるため、少なめの出荷となる見込み。北海道産は、生育遅れが回復傾向となり、中旬からまとまった出荷となる見込み。 ・青森産の出荷が少なめと見込まれることから、平年を下回って推移している価格は、平年並みに近づき見込み。
			94.24	86	94.24	75	76		・入荷見込量: 3,000t (94) ・主産地: 北海道 (72)、岐阜 (12)、青森 (10)	
にんじん 		156.99	131	133.01	143	141	・入荷見込量: 5,924t (96) ・主産地: 青森 (50)、千葉 (26)、北海道 (20)、輸入 (3)	・千葉産は、出荷の終盤を迎え、中旬までの出荷の見込み。青森産は、播種時期の遅れによる生育遅れが回復傾向となり、順調な生育となっているものの、作付面積の減少により、少なめの出荷量となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。		
	148.36	112	132.62	121	137	・入荷見込量: 1,700t (89) ・主産地: 青森 (42)、北海道 (36)、和歌山 (11)、長崎 (7)				

種類	5月の価格動向		6月の価格動向			生育及び価格の7月の見通し
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格	上旬	
いも	-	326	344	326	355	・入荷見込量：290t (-) ・主産地：宮崎 (39)、鹿児島 (38)、輸入 (14)、千葉 (8)
	-	459	347.9	379	488	・入荷見込量：89t (-) ・主産地：宮崎 (43)、鹿児島 (30)、愛媛 (13)、沖縄 (7)、輸入 (6)
も	131.8	90	131.8	83	74	・入荷見込量：5,861t (102) ・主産地：茨城 (29)、静岡 (22)、千葉 (20)、長崎 (12)
	131.8	95	131.8	84	80	・入荷見込量：3,100t (108) ・主産地：長崎 (41)、北海道 (18)、静岡 (14)、千葉 (13)

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
- 2) 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)。
- 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
- 4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは、前年実績。
- 5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

年	過去5か年平均		平成23年		平成24年			
	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	4,584	94	1,851	104
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	4,620	96	1,904	106
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	4,945	96	1,948	107
6月	5,043	1,872	4,904	1,857		0		0
7月	4,441	1,696	4,362	1,759		0		0
8月	4,348	1,719	4,392	1,717		0		0
9月	4,831	1,804	4,598	1,803		0		0
10月	5,262	1,862	5,037	1,884		0		0
11月	5,016	1,636	5,091	1,613		0		0
12月	5,145	1,834	4,998	1,792		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移
(単位：円/kg)

月	キャベツ		レタス	
	過去5か年平均	平成24年	過去5か年平均	平成24年
1月	166	230	547	690
2月	177	247	508	691
3月	188	238	461	692
4月	238	262	462	513
5月	172	196	380	409
6月	144	117	350	266
7月	160		324	0
8月	156		463	0
9月	155		562	0
10月	161		505	0
11月	162		371	0
12月	153		453	0

- 1) 過去5か年は平成19～23年の平均。
- 2) 平成24年6月の値は、6月中旬の速報値。

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

区分	平成22年		平成23年		平成24年1～5月		平成24年5月	
	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	478,563	107	86,950	124
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	779,076	105	176,711	113
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	1,257,639	106	263,661	116
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	623,260	107	124,653	111
中国産シェア	51		52		50		47	

資料：ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向
(単位：トン、%)

品目	輸入先	平成23年5月(A)	平成24年5月(B)	(B)/(A)
		たまねぎ	合計	22,886
	中国	17,994	20,766	115
	ニュージーランド	2,162	5,426	251
にんじん	合計	7,131	6,264	88
	中国	5,376	4,904	91
	ニュージーランド	1,203	1,067	89
ねぎ	合計	3,587	4,161	116
	中国	3,582	4,158	116

資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成24年5月は、速報値である。

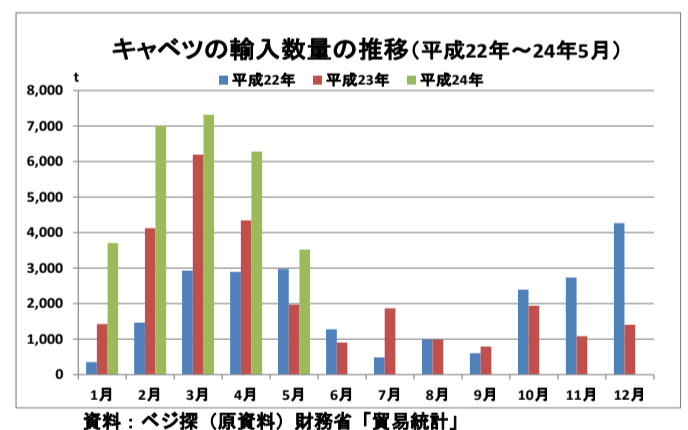
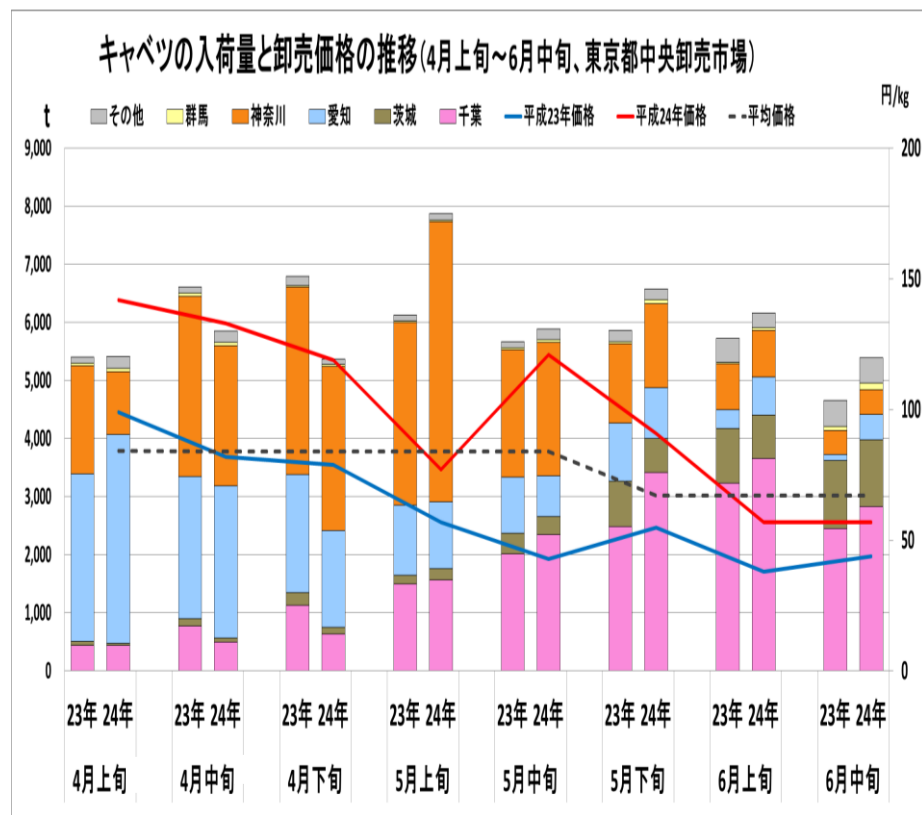
4 トピック — キャベツの需給動向 —

キャベツは、今冬の寒波の影響から、4月までは前年より少なめの入荷量となり、価格が高めに推移していたが、5月上旬からは、入荷量が前年より増加傾向となり、6月は価格が平年を下回って推移している。

これは、
① 本来なら4月に出荷されるものが後ろにずれこみ、5月上旬、神奈川産の入荷量が大きく増えたことに加え、
② 5月中旬以降の千葉産の入荷量が前年を上回って推移していることによるものと思われる。

以上のような状況から、1～5月の輸入量は、多かった前年をも大きく上回り、5月末時点で、すでに前年の1年間の輸入量を超える状態となっている。

今後は、
① 千葉産にまだ残量があること、
② 7～10月の入荷量の過半を占める群馬産の生育が順調なことから潤沢な供給がしばらく続く見込みから、輸入量は減少し、価格は平年を下回った状態がしばらく続く予想される。



平成23年のキャベツの月別入荷実績

